

# 起業家教育(アントレプレナーシップ)について

起業家教育は、平成19年度からの「個性かがやく高校づくり」の指定校から特に力を入れて教育実践を積み重ねており、起業家マインドの育成ということが大きな柱で行ってきました。

平成24年度から3年商業科「総合実践」を中心に、長年積み重ねてきた起業家教育をさらに発展させた内容にブラッシュアップを図り3年間実施しました。

平成27年度からは3年生に週2時間通年（今までは10月以降に実施され週3時間）で学校設定科目「地域ビジネスプランニング」により現在も展開されております。

## 1 実践授業について（平成30年度 実施）

- (1) 科目名 : 3学年必修科目「地域ビジネスプランニング」（2単位・学校設定科目）
- (2) 実践期間 : 6月～1月
- (3) 指導形態 : 担当教員4名によるチームティーチング

## 2 起業家教育について

起業家教育は、模擬会社の運営や商品開発、販売体験などの経済活動を題材とした課題解決学習を通して、生徒が自ら課題を見つけ解決していく過程の中で、起業家精神や起業家的資質・能力を育成する教育である。起業家精神とは、未来を切り開くチャレンジ精神であり、創造性や探究心、そして自信をとまなうものである。起業家的資質・能力とは、課題を解決するため、情報を収集し分析する力、協同して取り組むチームワーク力、さらに、リーダーシップ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力等を指している。

これらの力は、企業を立ち上げる起業家だけに必要な力ではなく、社会の中でよりよく生きていくために、だれにでも必要な力であり、特にこれからの社会を担っていく子供たちが身に付けるべき基本的な力であると言える。

## 3 使用教材について

- (1) プログラム（教材）名 「鹿島台商業高等学校アントレプレナーシッププログラム」  
(KASHIMADAI commercial high school Entrepreneurship Program 通称：KEP)

- (2) 独自教材の作成にあたって

本教材は、本校独自に作成しており、グループ学習を主体とし課題解決学習を行うものである。その際、グループ活動の活性化と、生徒の思考力や創造力の向上をねらいとして、企業において意思決定の場や企画会議などで活用されている「フレームワーク」を取り入れている。

実際に活用したフレームワークは次のとおりである。

|            |                          |
|------------|--------------------------|
| アイスブレイク    | チームワークを高めるゲーム            |
| ロジックツリー    | 思考過程を樹形図で表現し、幅広く深く考える思考法 |
| ブレインストーミング | 多くのアイディアを生み出す集団発想法       |
| ワールドカフェ    | メンバーの入れ替えを複数回行う話し合いの方法   |
| KJ法        | 多くの情報を整理・収束・結合させる方法      |
| 衆目評価法      | 投票形式による意思決定法             |
| 6W3H       | アイディアを具体的にする項目           |

### (3) 地域との連携・大学との連携について

平成 27 年度より、大崎地区の 6 つの企業等団体様に御協力いただいている。11 月にアドバイザーとして授業に参加していただき、生徒の意見に対して専門的な立場からアドバイスをしていた。生徒にとっても緊張感のある授業が行えた。こうした連携は、次年度以降も引き続き継続したいと考えている。

また、数年前から継続してきた宮城大学事業構想学部との連携については、平成 28 年度から、内田先生のゼミに協力していただき、授業の中で生徒と大学生とのディスカッションを実施することができた。

### (4) 平成 30 年度 協力していただいた企業等団体「アドバイザー」

| 連携先名               | 代表者役職                            | 代表者氏名   |
|--------------------|----------------------------------|---------|
| デリシャスファーム 株式会社     | 専務取締役                            | 今野 栄子 様 |
| 有限会社 ダイアファーム       | 代表取締役社長                          | 小堤 孝志 様 |
| 株式会社 一ノ蔵           | マーケティング室長                        | 山田 好恵 様 |
| 株式会社 デュナミス         | キャリア教育コーディネーター                   | 松浦 智博 様 |
| マナーコミュニケーションアドバイザー |                                  | 瀬尾 幸江 様 |
| 大崎市役所鹿島台総合支所       | 地域振興課 農林商工担当 係長                  | 横山 貴英 様 |
| 宮城大学               | 准教授, 事業構想学群 事業プランニング学類事業プランニング学類 | 内田 直仁 様 |

## 4 指導計画 (20 単元 39 時間構想)

| 月  | STEP (単元) | タイトル(単元名)                          | 時数 | 主な学習内容  |
|----|-----------|------------------------------------|----|---|
| 6  | 0         | 事前調査・自己分析&他者分析                     | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家教育に取り組む前の自分の能力について自己評価する。</li> <li>・クラスメートの能力について他者評価する。</li> </ul>  |
| 7  | 1         | 起業家教育をスタートしよう                      | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家教育のねらいと学習内容を理解する。</li> <li>・事前調査の結果を振り返る。</li> </ul>   |
|    | 2         | チームをつくろう                           | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム編成の条件に従って、チームをつくる。</li> <li>・事前調査の結果を参考に、チーム内で役割分担を決める。</li> </ul>   |
|    | 3         | チームワークを高めよう                        | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイクを行い、チーム内でのコミュニケーションを深める。</li> <li>・チームワークの大切さについて理解する。</li> </ul>  |
|    | 4         | チーム理念を決めよう                         | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとしての目標 (理念) を設定する。</li> </ul>  |
| 8  | 5         | ミッションを受け取ろう                        | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションの動画を見る。</li> <li>・ミッションの内容とアドバイザーについて理解する。</li> </ul>  |
|    | 6         | ミッションの背景を深く探ろう                     | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジックツリーの考え方を理解する。</li> <li>・ロジックツリーを活用して、地域が抱えている問題の原因を推測する。</li> </ul>   |
| 9  | 7         | 地域名の由来や地域の歴史を知ろう                   | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域名の由来や歴史、興味を持つ。</li> <li>・講話を聞くことで課題解決の一助とする。</li> </ul>   |
|    | 8         | 『地域の資源の発掘①』をしよう<br>観光について (外部講師講話) |    |   |
| 10 | 9         | 『地域の資源の発掘②』をしよう                    | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用する資源の「強み」「弱み」を分析する。</li> </ul>  |
|    | 9         | 『地域の資源の発掘③』をしよう                    | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジックツリーを使用し、地域の問題の原因を探る。</li> <li>・地域名の由来や歴史を調べ、興味・関心を持ち、理解する。</li> </ul>   |
| 11 | 11        | 企画会議を開こう                           | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたものを出し合い整理する。</li> <li>・ブレインストーミングを行い、アイデアを考案する。</li> <li>・簡易なコースを複数作成してみる。</li> <li>・KJ法でアイデアを整理する。</li> <li>・投票形式でアイデアを絞り込む。</li> <li>・6W3Hシートを作成し、アイデアを具体化する。</li> </ul> |
|    | 12        | 作成したコースを実際に体験してみよう                 | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したコースについて実際に歩いてみることで、問題点や課題を洗い出す。</li> </ul>  |
|    | 13        | 中間報告をしよう                           | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーとチューター (大学生) に向けて、アイデアをプレゼンテーションする。</li> <li>・アドバイザーからアイデアの改善点についてアドバイスをいただく。</li> </ul>  |
| 12 | 14        | アイデアを改善しよう                         | 1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チューターと共に、アイデアの改善点について整理する。</li> </ul>   |

|   |    |                     |   |  |
|---|----|---------------------|---|--|
|   |    |                     |   | ・チューターと共に、プレストを行い、アイデアの改善案を考案する。                           |
|   | 15 | アイデアを完成させよう         | 4 | ・アイデアの改善案について確認する。<br>・手直したアイデアを企画書にまとめる。                  |
|   | 16 | プレゼンテーション資料を作成しよう   | 5 | ・プレゼン資料作成のポイントを理解する。<br>・発表原稿とスライドを作成する。                   |
| 1 | 17 | プレゼンテーションのリハーサルをしよう | 1 | ・プレゼンテーションのリハーサルを行い、改善点を整理する。                              |
|   | 18 | プレゼンテーションをしよう       | 2 | ・プレゼンテーションを行い、自己評価と他者評価を行う。<br>・学習成果発表会で、アイデアをプレゼンテーションする。 |
|   | 19 | すべての活動を振り返ろう        | 1 | ・学習成果発表会について振り返る。<br>・起業家教育に取り組んだ後の自分について評価する。             |

## 5 生徒が取り組む課題（ミッション）について

- (1) ミッション 「大崎地域の資源を活用し、国内外の観光客を誘致するため、  
『駅からハイキング』を提案せよ！」

### (2) 今年度のミッションの背景

- ① 地域貢献・大崎市の魅力を発信し、大崎市に対する滞在需要を発掘する。
- ② 様々な手法を取り入れて、交流人口を増やしていく。
- ③ 大崎地区の学校として、お世話になった大崎へ恩返しをしていく。  
    キーポイント：インバウンド（海外から日本へ）、アウトバウンド（日本から海外へ）

### (3) ミッションの方向性について

- ① 大崎市（鹿島台・松山・品井沼【松島の管轄区】）における駅からハイキングコースを考案する。
- ② 県内外の人々や国外の人々を観光案内する。
- ③ 日本の文化・東北の文化・宮城の文化・大崎市の文化を発信する。
- ④ 異国間・異年齢の交流と国内外の輪を広げる

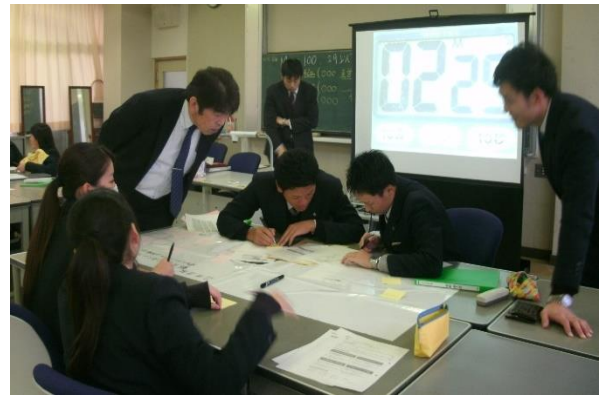
## 6 実践について

### (1) STEP 11：企画会議を開こう（平成30年11月6日（火））

この授業は、3年1組のみ外部の公開研究授業として（3年2組・3組は内部のみで実施）、県内商業科の先生方に参加していただいた。

授業の題材は、地域社会の資源について正しく理解することを目指したものであった。これらのことは、全国商業高等学校長協会の本部提案資料（平成28年度（秋）・平成29年度（春））に「地域創生」の重要性が示されており、地域を大事にすることによる人材育成に結びつくものといえる。

研究授業では、あらかじめ6つにグループが分けられており、出欠確認から授業終了までグループにより活動を行うことを意識させながら行っていた。最初に、本日の授業で行う活動について生徒が知るところから始まる。その後、授業での活動について必要な説明が行われる。特に、ブレーンストーミングの手法について、簡単に理解することを目標に説明が行われた。説明後は、2回にわたりブレーンストーミングを行い、課題解決を目指した活動が行われた。限られた時間の中、生徒同士の自由で活発な意見交換が印象に残った。この授業を通し、生徒一人一人が地域についてしっかり考えることができる授業であると感じた。



## (2) 「駅からハイキング」コースの選定・作成に向けた『フィールドワーク』（平成30年11月21日（水））

ミッションにおいて、鹿島台駅、品井沼駅、松山町駅の『駅からハイキング』を計画しており、住んでいる地域や通学している地域であっても知らないことやわからないことも多くあるので、計画しているハイキングコースを実際に探索するフィールドワークを実施した。

実施目的としては、平成31年1月24日（木）の「学習成果発表会」ならびに、次年度の「駅からハイキング」コースの選定・作成に向けてのフィールドワークを行うことであった。



## (3) STEP 14 : 中間報告をしよう・STEP 15 : アイディアを改善しよう

- ・この単位では、アドバイザー（企業等団体）に來校していただく、担当するチームの生徒とディスカッションする活動を行った。
- ・アドバイザーの仕事内容や経歴、地域に対する思いなどをお話ししていただいた。
- ・生徒は、考案したタイトル・コースの「方向性」について、アドバイザーから助言をいただいた。さらには、今後考案するタイトル・コースの「方向性」についてもアドバイスをいただいた。
- ・プログラム全体のなかで、初めて外部の講師を招く単位であり、話を聞くだけでなく、講師とのディスカッションを通して、生徒の緊張感を良い意味で高めることができた。

- ・STEP 14は、企画会議を経て考案したアイデアを、中間報告として、アドバイザーとチューター（大学生）に向けてプレゼンテーションし、アドバイザーからアイデアの改善点についてアドバイスをいただく単元である。
- ・STEP 15は、中間報告でアドバイザーからいただいたアイデアの改善点をもとに、チューターを交えて、ブレスト行い、アイデアの改善案について話し合った。
- ・この時点までで考案したアイデアに対して、アドバイザーから専門的な視点でのアドバイスをいただくことによって、生徒は自分たちの考えが未熟であることに気付くことができた。また、場合によっては難題を抱えることになるが、チューターからヒントを得ながらブレインストーミングを行い、アイデアの改善案を考えることによって、アイデアは厚みを増すことにつながった。



## 7 活動の成果と今後の課題

今年度の実践を通して、感じられた成果と課題は次のとおりである。

- ・今年度の3学年は、全般的に授業への取り組みが良好であったこともあり、この授業の活動において、外部講師の方々と積極的にコミュニケーションをとっている場面や、グループ活動時に高いチームワークを発揮して活動に臨んでいる場面などが見られ、生徒が普段見られない一面を見ることができた。生徒の悪い部分だけに着目し指導することのないように、良い部分を伸ばすという指導について改めて考えさせられる実践であった。
- ・この授業のような活動に不慣れな生徒も少なからずいるため、学校全体で「主体的・対話的で深い学び」（グループ活動、プレゼンテーション等）の実践について検討しなければならない。様々な能力を高めようとする起業家教育ではあるが、この地域ビジネスプランニングという一つの科目の一部の期間だけでは、十分な効果は期待できない。他の商業科目とのつながりや、普通教科との連携なども視野に入れ、3年間を通しての系統的な起業家教育、主体的・対話的で深い学びによる、カリキュラムマネジメントの実践を通したものを目指すことが必要である。
- ・地域社会との連携が確立されている中で、今後より一層、地域からの期待に応えられるような取り組み、人材育成に向けて、起業家教育のみではなく、本校らしい特色の一つとして改善していくべきだと感じている。

# 地域ビジネスプランニング（起業家教育）

## 【平成30年度ミッション】

# 「大崎地域の資源を活用し、 国内外の観光客を誘致するため、 『駅からハイキング』を提案せよ！」

## 【今年度のミッションの背景】

- ① 地域貢献・大崎市の魅力を発信し、大崎市に対する滞在需要を発掘する。
- ② 様々な手法を取り入れて、交流人口を増やしていく。
- ③ 大崎地区の学校として、お世話になった大崎へ恩返しをしていく。  
キーポイント：インバウンド（海外から日本へ）、アウトバウンド（日本から海外へ）

## 【ミッションの方向性について】

- ① 大崎市（鹿島台・松山・品井沼【松島の管轄区】）における駅からハイキングコースを考案する。
- ② 県内外の人々や国外の人々を観光案内する。
- ③ 日本の文化・東北の文化・宮城の文化・大崎市の文化を発信する。
- ④ 異国間・異年齢の交流と国内外の輪を広げる・観光客が旅行に求めるニーズの変化

## 【アドバイザー（協力企業等団体）】

- 株式会社デュナミス（キャリア教育コーディネーター・松浦智博さん・仙台）
- 大崎市鹿島台総合支所・地域振興課（農林商工担当係長・横山 貴英さん・鹿島台）
- デリシャスファーム株式会社（専務取締役・今野 栄子さん・鹿島台）
- 有限会社ダイアファーム（代表取締役・小堤 孝志さん・鹿島台）
- 株式会社一ノ蔵（マーケティング室長・山田 好恵さん・松山）
- マナーコミュニケーションアドバイザー（瀬尾 幸江さん・仙台）
- 宮城大学（准教授，事業構想学群 事業プランニング学類事業プランニング学類准教授・内田 直仁先生・仙台および大和）

### 《依頼内容》

- ・外部講師として授業への参加（生徒とのディスカッション）（12月11日（火））
- ・生徒のプレゼンテーションに対する講評（平成31年1月24日（木）「学習成果発表会」）